



なは市民協働大学だより



第 3 回 号

発行月：令和元年 8 月
 発行：那覇市まちづくり協働推進課
 なは市民活動支援センター
 〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1
 なは市民協働プラザ 2 階
 TEL:098-861-5024 FAX:098-861-5029

残暑お見舞い申し上げます



はいたい！受講生の皆さんこんにちは。第3回目の講座、おつかれさまでした。

前回の講座から約一ヶ月経ち、日中も太陽の日差しが強いため気温が高く、平日のお仕事帰り、または勉強の後にも拘らず 31 名の方に参加いただき、ありがとうございました。受講生の皆さんの意識の高さに、スタッフ一同感激しています。これからも、『受講生の皆さんが参加しやすいように、スタッフとしてできる事は何か？』と考え、改善を重ね運営していきます。『こんな事があったら、こんな事をしたら参加しやすいよ』など、運営等についてアドバイスがありましたらご遠慮なくスタッフまでお声掛けください。

今回は、ちやーがんじゅう課 主幹 金城真理枝さん、那覇市地域包括支援センター松川 所長 中村 丘 学さん、松川共同住宅自治会 会長 祖慶和明さんを講師にお迎えしての講座でした。金城主幹からは、高齢化社会のシビアな現状・これからの傾向のお話がありました。中村所長と祖慶会長は、自治会の現状も例外ではなく、解決策を色々な方々と話し合い、住民主体で調査を行ったとお話がありました。なかでも、買物困難な方に対応する移動販売市場の取組みは興味深く、笑いを誘うようなお二人の掛け合い話もありましたので、心落ち着けて最後まで皆笑顔で聴く事ができました。祖慶会長も中村所長も協働大使であり、皆さんと一緒に頑張りたいと声が事務局に届きました。

受講生である島袋睦さんより、美味しいサターアングギーの差入れがありました。空腹に負けることなく、皆さんで美味しくいただきながら、受講しました。ごちそう様でした。



終盤に、福祉政策課職員より「民生委員児童委員」のお知らせがありました。地域で大活躍している方方ですが、只今♪**担い手を大募集**♪しています、という内容でした。受講生の伊川さんも民生委員をされております。伊川さんからは「地域の方と顔見知りになる」、「行政などのサービスや支援情報が入手しやすいので、自分のくらしにも使える」、また「多くの仲間と一緒に相談しあえる」と民生委員になってよかったと実体験を紹介していただきました。興味がある方、推薦したい方がいらっしゃる方は是非、お問い合わせください。

那覇市民生委員児童委員連合会
電話 098-858-5166



福祉政策課職員



民生委員
伊川さん

こんな悩みありませんか？

- 生活の不安**
 - ひとり暮らしでさみしい
 - 高齢者二人で、何かあった時不安
- お金のこと**
 - 生活費がない
 - 子どもの進学費がない
- 福祉サービスのこと**
 - 困っているけど、どこに相談していいのかわからない
 - 障がい者手帳を申請したい...
- 介護のこと**
 - 介護保険はどうやって使うの？
 - おじいちゃんのために住宅を改修したいけどお金がない
- 子育てのこと**
 - 子育てのことで相談できる人がいない
 - 子育てがまじいかわなくて不安...
 - 子どもがたいてしまっそう
 - 子どもが学校に行かなくなった...

私たちは地域の相談員です。

民生委員・児童委員とは
厚生労働大臣から委嘱された地域の奉仕者です。
民生委員は民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱され、児童福祉法に定められる児童委員を兼ねています。
市内には459人(定数)の民生委員児童委員があり16地区協議会に分かれ、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めています。

ご近所で役にたつことありませんか？

- 心掛のこと**
 - 〇〇さんの家に何日分も新聞がたまっている
 - 最近、〇〇さんの姿を見かけない
- 足元かも...**
 - 〇〇さんの家の廊下や声と子どもの泣き声が聞こえる...
 - 〇〇さんの子どもが何日も服を愛でていない

地域住民の身近な相談相手となり行政・専門機関へつなぎます。

主任児童委員とは
民生委員・児童委員の中から、厚生労働大臣に指名された委員です。
主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する、民生委員・児童委員です。
担当地域を持たず、地区担当の民生委員・児童委員と連携しながら子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。

●第3回講座の振り返り

◎令和元年7月30日(火)19:00-21:00

なは市民協働プラザ2階会議室①

◎受講者：30名(全45名中)

聴講生：1名



祖慶会長、中村所長



金城主幹

プログラム

[最後まで那覇で幸せに暮らせる仕組みを考える]

1. 那覇市の高齢者等の現状・課題や取組み
(ちゃーがんじゅう課)
2. 那覇市地域包括支援センター松川と松川共同住宅自治会の現状と協働の取組み
3. グループによる質問づくりワーク
・講話の感想をグループで共有
・講師への質問をグループで発表
4. 各グループからの質問についての三者応答
5. 本日の振り返りワーク
6. 事務局からのお知らせ

★ちゃーがんじゅう課(金城主幹)より

那覇市の人口は、減少傾向にあります。65歳以上の人口は増えています。その中でも高齢者単身世帯が平成15年と比べると現在は2倍になっており、また、令和7年度には認知症の方が、65歳以上の高齢者5人に1人の割合の推計となります。那覇市では、地域包括ケアシステムを活用して、高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちを目指しています。

★地域包括支援センター松川(中村所長)、松川共同住宅自治会(祖慶会長)より

包括支援センターとは、一言でいうと高齢者総合相談窓口です。上記のケアシステムの中で、高齢者が住宅でいつまでも住み続けることができるよう、ご本人やご家族に寄り添い、各種機関・団体等と連携をとりながら活動をしています。

新築当初の松川共同住宅1階には、スーパーマーケットがありましたが、40年以上経過した今は、市街地整備事業等により孤立するような形で、1階店舗をはじめ周辺から商店がなくなりました。現在、一番近い商店でも1km前後離れています。凹凸のある道は狭く、場所によっては坂道になっています。そこで困難な買い物対策を行う必要がありましたが、その前に住民自身が本当に困っている事を把握するためのアンケートを取りました。その結果により、住民の力による移動販売市場の開催にこぎつけることができ、住民の皆さんに喜ばれています。また、地域の交番長による防犯講座や見回り、多くの参加者と一緒にお弁当をいただきながら語り合う空間を生み出す等、住民が必要と思っている様々な支援につなげている活動を行うことができました。



☆受講生からの質問(抜粋)

本当に困っている人や、地域や医療につながっていない人の把握はどの様になっていますか？

→ 支援センターでは、お隣近所や商店に声かけや連携して情報を収集しています。



★事務局より★

令和元年10月12日(土)に開催予定の第6回は、繁多川地区をのまちなま〜い(街歩き)を行います。その時に、従来大豆お〜い〜ん&繁多川ゆし豆腐の軽食の注文を事前(9月)に行う予定です。(1セット1,000円)是非、まちなま〜いの日程を押さえて入れておいてくださいね♪



8月10日(土)開催した自主ゼミについては、別途特別号でご案内します

次回(第4回)講座ご案内

日時：令和元年8月20日(火)

19:00~21:00

場所：なは市民協働プラザ2階会議室①

テーマ：あなたの地域は安全ですか？

そして楽しく防災を！

(若狭公民館長、防災危機管理課)